

子どもの居場所の充実を考える

～子どもの居場所フロッター活動報告会～



世田谷区では、子どもがニーズに合わせて居場所を選択できる環境づくりや運営者同士の連携を通じた居場所の質の向上を図っていくため、今年4月からモデル事業として、区内2箇所の児童館に「子どもの居場所フロッター※」を配置しています。

報告会では、これまでの活動を紹介するとともに、関係者によるパネルディスカッションを通じて、取組みの意義や効果など子どもの居場所の充実に向けた議論を行います。

※フロッター(floater)とは、フリーな立場で遊軍的に動く職員のことを意味する海外の事例を参考とし、子どもの居場所づくりに関して館運営に縛られずに自由に動く児童館職員の呼称です。

開催日

令和7年1月29日(水) 午後6時30分～午後8時30分

対象

日ごろ子どもの居場所に関わる方や行政関係者、興味のある方など

会場

世田谷区役所 第2庁舎4階 2庁大会議室
※ZOOM ウェビナーを使用したハイブリッド開催

参加方法

○会場参加を希望の方…事前申込制(先着60名)下記 URL
もしくは二次元コードよりお申込みください。
<https://logoform.jp/form/JqMJ/804082>

○ZOOM 参加を希望の方…事前申込不要。下記 URL もしくは
二次元コードよりご参加ください。
<https://zoom.us/j/96492623232>



問い合わせ先:児童課

TEL:03-5432-2368
FAX:03-5432-3016

当日プログラム

【第1部】子どもの居場所フロッターによる令和6年度活動報告

☆今年度4月より等々力児童館、粕谷児童館に2児童館でモデル事業を開始した「子どもの居場所フロッター事業」のこれまでの活動について報告します。

【登壇者】

- 村松 将典（等々力児童館）
- 三宅 亮（粕谷児童館）



【第2部】パネルディスカッション

<テーマ:子どもの居場所の充実に向けて>

☆「子どもの居場所フロッター事業」を通じて、新たにつながった居場所や関係機関の皆さんと連携の意義や効果など子どもの居場所の充実について議論します。

【ファシリテーター】

- 安部 芳絵 氏（工学院大学教授、世田谷区子どもの人権擁護委員、こども家庭審議会こどもの居場所部会委員）

【パネリスト】

- 岩岡 いづみ 氏（一般社団法人寺子屋いづみ 代表理事）
- 岡 裕介 氏（学び舎トーカ 代表）
- 風間 浩也 氏（世田谷区立芦花中学校 校長）
- 小林 暁子 氏（烏山地域社会福祉協議会事務所 所長）
- 村松 将典（等々力児童館）
- 三宅 亮（粕谷児童館）

